



甲南だより

令和元年8月1日発行

Vol. 16

令和
によせて



五月、元号が令和に変わり、季節は早くも夏を迎えました。

改元の当日、街ではお祝い行事も催されて、とてもにぎやかな一日となりました。

令和の時代には、人々が美しく心を寄せ合う、そうした人の心のふれあいの中で、相手を思いやる心、いたわりの心、相手を信頼する心を大事にする社会になってほしい、という思いも込められています。

数年前、「おもてなし」というフレーズが世界に広まりました。おもてなしという言葉には、二つの意味があるのだとか。

ひとつは、「もてなし」に「お」をつけた丁寧語の「おもてなし」という言葉で、「モノを持って成し遂げる」というもの。

もうひとつは、「表なし」で「表裏のない」というものです。

丁寧ではあるけれど、表面上で取り繕われたものではなく、表裏のない真心を持って表す、日々このようにありたいものです。

「令和」：それぞれが持つ本来の優しさと豊かな感性が、今までとは違った形で実現する時代になりますように。

本山だんじりパレード鑑賞

本山だんじりパレードは、本山連合青年会などが1987(昭和62)年、「本山八地区山手幹線地車パレード」として始め、1991(平成3)年に現在の名称に変更され、今年で32回目を迎えました。

新しい「令和」の年の「本山だんじりパレード」は、5月1日の「令和奉祝だんじり巡行」に続き、各地区の華麗でパワーあふれる演舞の競演に、山手幹線の沿道は二重三重の観衆で埋まりました。

太鼓やかねの音が響くなか、引き手が掛け声に合わせて練り回しを披露し、屋根に乗った若者が青や白、ピンクなどはたきを振って声を掛けると、法被をまとった引き手らが前方を浮かし、後輪を支点にだんじりを回します。汗ばむ陽気の下で見せる勇壮な動きに魅了され、堪能しました。



様々なイベントや行事を開催いたしました



よもぎ団子作り 4.25(木)

出来上がった団子は艶があり美しく、よもぎの味も香りもしっかりとして、皆様と一緒に美味しくいただきました。

みのりの会 5.27(月)

本山東部あんしんすこやかセンター主催の「みのりの会」。ご入居者の方々も森北町の地域住民として参加され、フレイル対策や森北町の現状などについて話し合いました。



グランドビュー喫茶 5.31(金)



多くのご入居者の皆様にご参加頂いて、香り高いコーヒーと、ゆったりした午後のひとときを過ごしました。

そよ風コンサート 6.1(土)



fiore の演奏はクラリネットやフルート、ピアノの美しい音色が心に響きました。皆様に親しみのある曲も多く、演奏に合わせて口ずさみました。

介護基礎講習会 6.10(月)

法人研修事業部部長の三輪より、介護分野における歴史や、介護職の専門性などについてお話ししました。



卓球お楽しみ会 6.13(木)

ロングラリーが続き、盛り上がりました。久しぶりの卓球でいい汗を流しました。



甲南女子大学チャリティコンサート 6.20(木)

甲南女子大学芦原講堂の素晴らしいパイプオルガンで、荘厳なバッハのオルガン音楽演奏を楽しみました。



梅サークル 6.24(月)&7.1(月)



福井産の黄金色の梅で今年も梅干し・梅酒・梅シロップを作っています。2回目を終え、塩もみした赤紫蘇を梅と一緒に漬け込みました。

たこ焼き 6.22(土)



目の前で焼き上げるたこ焼き。ソースの香ばしさと、熱々を口にすると好評でした。

運営懇談会 6.30(日)

お忙しい中、ご出席頂きました。皆様からの貴重なご意見をありがとうございました。



歌の会 7.3(水)

笹の葉の前で、職員伴奏のピアノに合わせて「海」や「たなばた」など、夏の唱歌を歌いました。





ご入居者様の投稿欄

そよ風

グランドビュー展望の

万葉集名歌へのいざない

ご入居者 正田様

ともしびの明石大門おほとに入らむ日や

漕こぎ別れなむ家のあたり見ず

ぎしぎしと艚ろを漕ぐ音をひびかせながら、難波の港を出て、芦屋の浜、敏馬みぬめの浦（灘）、大和田の泊り（兵庫）を過ぎて西国に向かう船の長途。

この歌は、いよいよ、ともしびの（枕詞）明石海峡の大門に入って行く日となって、浦々の家もすでに見えず、この海とも別れて行くのか、と歌っています。長い困難な海路をたどって行くたずきなさ、そこはかとなく漂う旅愁が心に伝わってくる万葉集きつての名歌。窓の景色のつれづれに、「ともしびの明石大門に入らむ日や」と口に出してお楽しみ預けたら幸いです。

掲載の一首は万葉集巻三・二五四番

柿本人麻呂たび羈旅の歌



ととやみち（二）

ご入居者 石井様

「ととやみち」の由来については前号で書きましたが、それが今どんな形で残っているか、また昨年九月四日に神戸を襲った台風二十一号がどんな爪跡を残して行ったかを調べるのも一つの目的でした。

九月二十三日（日）朝十時出発、まず昭内橋西詰の山の神の祠に参拝、一日の無事を祈願の後、高橋川右岸（川の中で下手向に立って右手が右岸、左手が左岸です）を登り始めました。百米程進むと小さいダムが現れます。これを裏から回って左岸に移り、川沿いの細い道を進みます。途中で右岸に移り約二百米で二つ目のダムに着きます。今度も右岸からダムの落水面に取付けられたステップを踏んで登り左岸に移ります。少し進むと道標があり魚屋道尾根ルートに移る事が出来ると表示してありますが、今回は「ととやみち」探索が目的ですから直進しました。

さあ、これからが大変です。谷はいよいよ狭く両側の山は急角度で立上り山腹を辿る様な道はありません。言わば川底を歩くのですが水量は少なく岩が水面に出ていますからその上を辿る事になります。

十一時過ぎこの悪所を無事通過、やっと尾根道に出ました。そこには「蛙岩」が鎮座していました。当会送迎バス程の大きさです。ここれより東へ五十米程の所にあった木造の避難小屋は跡形もなく消え去っていました。

この後お弁当を食べ、帰途は「会下山遺跡コース」を辿り、二時半無事帰宅しました。

参考文献

「六甲山系 登山詳細図」

発行 吉備人出版

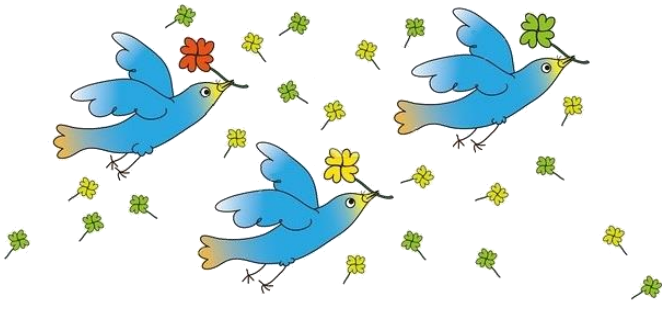


幸せへの道

ご入居者 杉山様

四方を青々とした稲田に囲まれて育った私は、子供の頃よくひばりを追っかけて遊んだものです。そうした時にチルチル・ミチルの青い鳥を連想することもありました。後年、周囲の方から相談事を持ち込まれることがよくあり、そうした中で偶然のように家庭裁判所の調停委員の仕事が回って参りました。

勧められるままその道に入り、無我夢中での数十年が経ちました。少しでも人々のお役に立てたかどうか、幸せがもたらせられたでしょうか？絶えずこうしたことで頭が一杯でした。



でも天国の両親からは、いつも「よくやっているじゃないか」との励ましがあるように思われ、心の糧として故郷岡山の美しい山並みを思い浮かべながら努力して参りました。

その後、私は京都・伊勢、今は兵庫と素晴らしい環境に恵まれました。

今幸せとは周りの皆様への感謝の気持ちと同義だと思っています。

通訳追走(ツイソウ)物語

ご入居者 徳田様

二〇〇五年、高校時代の友人に誘われて中国旅行に参加しました。三国志の名所旧跡も含まれる重慶、武漢、上海を巡りましたが、メインは長江三峡クルーズ、神州号と呼ばれる遊覧船は定員約二五〇名、乗員は中国人でよく訓練され、感じの良い人々でした。乗客はカナダ系、中国系が最も多く、次いでドイツ人グループが約三〇名、二〇名ぎりぎりの日本人客より巾をきかせていました。

船から見上げる回りの風景は、切り立った崖や巨岩、緑深い溪谷、何億年も前に隆起した地層など絶景が続々と現れ、また過ぎ去って行きます。説明をするガイドさんは各国語毎に交代してマイクを持ちますが、まず最初に流れるのが中国語、次は国際語の英語、三番目がドイツ語、最後の四番目に出て来るのが日本語で、もうこの頃には風景はかなり変わっていて、説明される場面は角を曲がってはるか彼方へというありさま、「熊猫保護区」の立看板だけはパンダと分かりました。

ところでこの「通訳説明文が元の景色に遅れて追走する」というのを私自身二回も体験していたのです。退職後間もなく元同僚と北陸バスツアーに参加、日本人客の中に一人だけ豪州からの交換教師の女性がいました。日本語は話せたのですが、私に時々質問をされるので、ガイドの日本語を英語に通訳してあげることになりました。東尋坊、永平寺、安宅関、世界一の眼鏡フレーム産地鯖江市、野球の松井秀喜選手の生家など名所が続き、私はもうへとへと。素人が外国語を話すときは少し間を取り、どんな構文にするのか考えるのですが、考えている間に景色はどんどん移り大変でした。英国旅行の時は申込む前から「通訳してね」と友人に頼まれ、行きたい一心からホイホイと誘いにのりました。テムズ川クルーズは魚の紋章や旧グローブ座のオブジェなど面白いものがいっぱい。でも英語を一生懸命に聴いていると日本語をきちんとしゃべるひまがなくて、友人には悪いことをしたと思っています。



私共京料理花萬が皆様のお食事に携わらせて頂き、満四年を迎えることができました。

これも皆様のご愛顧の賜物と心より感謝しております。

日頃より皆様からのお声は何よりの励みと考えておりますので、今後も皆様のお声に積極的に耳を傾け、より良いサービスの向上に努めて参ります。

見て楽しい、食べて楽しい食空間を作るよう様々な催しや実演も定期的を実施し、皆様にお喜び頂けるお食事を提供できるように取り組んで参りますので、今後とも変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

京料理 花萬料理長 中上達雄



花萬 四周年



スタッフ 通信



管理栄養士
担当：辻本

管理栄養士の主な仕事は、栄養相談、献立チェック、配慮を要する方への栄養管理、非常食の在庫管理、レストラン・食品衛生関係書類のチェックなどです。またイベントのお手伝いもしています。お食事のことで何か気になることやお気付きのことがありましたら、ご遠慮なくお知らせ下さい。

またメニューのリクエストも承りますので、レストランのアンケート用紙にご記入ください。皆様に毎食、心のこもった美味しい食事を提供できるよう、花萬のスタッフ達と共に努めてまいりますので、これからもどうぞ宜しくお願いいたします。

神戸で生まれ育ちました。大学卒業後、管理栄養士の資格を取得し、神戸福生会に入職。同法人のケアセンターながたに約11年間勤務しました。

趣味は旅行です。沖縄の離島やモルディブなどで、スキューバダイビングやシュノーケリングを楽しみました。子供が大きくなったら、また綺麗な海に旅行したいと夢見ています。

— 福生物語 —

第三話 福生会の歴史 くご入居者第一号く

前回の館内通信では、福生会の名前の由来についてご紹介しました。今回は、堺市の福生会の初めてのご入居者であるご夫婦について。

戦後間もない頃、お墓で生活している老夫婦を助けてあげてくれないか、と中辻嘉台氏(福生会創立者)は民生委員の方から言われました。すぐにリヤカーを引いて十キロ以上離れたお墓へ見に行きました。確かにご高齢のご夫婦はおられ、拾ってきた板やトタンを墓石に乗せて雨露をしのいでいました。事情を聴くと、中国の天津から引き揚げてきたそうです。ここは生まれ故郷だけれど、自分たちは日本に帰ってくる気はなかったのです。全ての財産は処分して大陸に渡った。日本に残っているのは先祖のこのお墓だけであり、人に迷惑をかけるのが嫌だからここで生活していると話されました。嘉台氏は自分を話し説得をして、ご夫婦をリヤカーに乗せて自宅まで連れて帰りました。

信頼関係ができてから尋ねると、ご主人は京都帝国大学卒業後、天津では銀行の役員を務め、退職金で悠々自適の生活であったが、跡取りのご子息が戦死され、状況が一変されたことがわかりました。ご高齢であったため、引き揚げが最後になり、数か月前にお墓にたどり着いたとのことでした。

この初めてのご入居者が、後に当法人の前理事長である中辻直行氏の家庭教師となり、ご入居者のお世話で多忙な両親に代わって勉強を教えてくださいました。

その後、次々に生活に困っている人の連絡が嘉台氏に入るようになり、その都度リヤカーで迎えに行き、昭和二十六年秋頃には、自宅に十数人の高齢者がいました。



グランドビュー甲南から居室のご案内

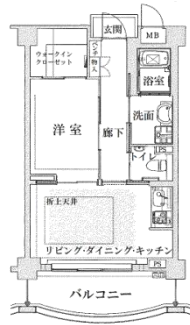
空室の2室をご紹介します



Aタイプ
南向きの東角部屋です。リビングに加えて洋室と和室があります。館内でこのタイプは1室のみです。角部屋なので、各お部屋に窓があり風通しも良くとても明るい居室です。

<Aタイプ>
2LDK 66 m²

<価格一例>
80歳プラン 1,980万円～
その他のご年齢プランもございます。



Bタイプ
朝日が差し込む東向きのお部屋です。秋はベランダから、中庭の木々の紅葉が楽しめます。

<Bタイプ>
1LDK 47 m²

グランドビュー甲南

詳しいお問合せは ☎ **0120-092-294** までご連絡下さい。



グランドビュー甲南・ケアハウスこうべ甲南 合同見学会のお知らせ

介護付有料老人ホームとケアハウスを同時にご案内します。

○セミナー&昼食付見学会

「グランドビュー甲南でご利用できる介護支援について」
～耳よりな情報をお届けします～ (30分程)

講師：グランドビュー甲南 (主任生活相談員) 川本 衛

9月23日 (月/祝) 11時開始 14時頃終了 (予定)

参加費用：500円 (昼食代込み)

9月5日 (木) までに電話でお申込み下さい。

○昼食付見学会 ※セミナー開催はありません

9月19日 (木)・28日 (土)・30日 (月)

11時開始 13時頃終了 (予定)

参加費用：500円 (昼食代込み)

各開催日の3日前までに電話でお申込み下さい。

※車でご来場の方は、電話申込時にお知らせ下さい。送迎バスをご利用の方は、10時45分にJR甲南山手駅改札前にお越し下さい。



お問合せ・お申込みは ☎ **0120-092-294**

人々をつなぐコミュニケーションの一つとなる「言葉」先日、言葉が書かれたカードゲームに触れてみた。たくさんのカードの中から引いたり捨てたり、各々が選んだカードに書かれた言葉に対して、生まれる感情や体験を聴く。それぞれの捉え方の違いを感じ、互いを認め、豊かな関係を築いていく足がかりとなるゲーム。

一つの言葉が生み出すエピソードは、人の数だけ違いがあり、さまざまな思いや感情が伴うことを知る。

時には涙がこぼれ、そこから気づきが生まれ、いつしか笑顔に変わる。

「みんな違って、みんないい」すべてにおいて意味があった出来事ばかり。新元号「令和」とともに素敵な出会いが訪れますように。

編集後記



<ヨコのかぎ>

- ①この世のこと
- ③会合や催物を開き行うこと
- ⑦先のことは分からない…闇のような
- ⑧混じりけのないこと。白一色のこと。白〇〇
- ⑨小学校の教科のひとつ。ピーカーや試験管で実験も
- ⑩快活で明るいこと
- ⑫神の使者として人間界に使いをする者
- ⑬言い開きをすること
- ⑮世の中に知れ渡ること
- ⑰土を使わず植物を育てる〇〇〇〇栽培
- ⑲一度よく考えること。この件は〇〇〇〇を要する
- ⑳木の実。バレエの有名な演目にもある
- ㉑町や村が〇〇化で悩んでいる
- ㉒磁力が作用している範囲のこと
- ㉔梅干しを作るときに使う



1		2		3	4	5	6		A
		7							B
	8			9					C
10			11		12				D
		13		14					E
15	16		17			18			
19					20		21		
22			23			24			

※正解はグランドビュー甲南のホームページ「ホームだより」をご覧ください。又はお電話にてお問合せ下さい。

- ①〇〇を飛ばす
- ②柱のキズを見て思い出すのは
- ③織物の模様で、久留米の〇〇〇も有名
- ④世界遺産マチュピチュを造った国
- ⑤パンダの好物
- ⑥長崎県の北部にある地域
- ⑧〇〇夢中で逃げた
- ⑩夜の海で青白く光り、酢みそで食べると美味しい
- ⑪数を表すのに用いる漢字の文字
- ⑬兄弟姉妹の子。女性です
- ⑯この成分は歯を強くする
- ⑰漆器には欠かせないもの
- ⑱発酵食品のひとつ

ハタテのかぎ